

1	事業名称	南アルプスジオパークキャンプ				
2	新規・継続	継続	2年目			
3	趣旨	南アルプスの雄大な自然にふれたり、自然の恵みを味わったりする中で、大地の動きや災害の爪跡を目にして、自然への畏敬の念を育むとともに、防災に対する意識を高める。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	8月7日(火)	～	8月11日(土)	4泊5日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家 大池高原キャンプ場 中央構造線博物館				
6	募集人数	20人				
7	共催・協力・後援	共催：伊那市 南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク協議会 協力：山地環境防災研究所 中央構造線博物館 後援：長野県教育委員会 伊那市教育委員会 山梨県教育委員会 愛知県教育委員会				
8	参加者人数	22人				
9	参加者類型	小学校6年生5人 5年生10人 4年生7人 (男子11名、女子11名)				
10	参加者地域	長野県18人、山梨県2人、岐阜県1人、富山県1人				
11	参加者分析	・タイニーキャンプ等、当所の他事業参加経験者が9名で、そのうち3名が昨年度に引き続き、本事業に参加した。 ・長野県内参加者は、上伊那4名、下伊那3名、諏訪4名、中信4名、東信2名、北信1名と、県内各地から幅広い参加があった。				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		100%	0%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	・自然はすばらしいところもあるけど、災害など恐ろしいところもあることがわかった。 ・大昔の土砂崩れによって土地が平らになり、人が住めるようになったり、田畑を作れるようになったりしたことを知って、災害が人間の生活と関係していることがわかった。 ・大崩落の跡地を見て、その場所の地形や地質によって、崩れ方が違うことがわかった。だから、自分が住んでいる土地のようすを調べることは大切なんだと感じた。 ・鹿肉を食べたり、塩水の温泉（天然の塩泉）に入ったり、初めて体験することが多くて楽しかった。				
14	成果	・上記のアンケートの記述からもわかるように、崩落跡地の見学や山地災害の模型実験、崩落の被害を目の当たりにした方の話を聞くプログラムを設定したことで、参加者が災害に目を向け、防災を意識することができた。 ・昨年度の26項目のアンケート内容から、さらにESDの視点に立った項目を増やし、合計55項目にわたるアンケートを、「事業実施前」「事業実施後」「事業後1ヶ月」の3回にわたり行った。その中で、「環境に配慮した生活について、自分なりに工夫している」「自分が住む地域について、どのような災害が起きる可能性があるか知っている」というESDの「未来像を予測して計画を立てる力」の分野で、プラスの方向に大きく変容する結果が出た。プログラムが参加者の生きる力の育成に効果があったと考える。				
15	今後の課題	・アンケートの結果、ESDの「つながりを尊重する態度」の分野の「人同士、人と地域のかかわりは、災害の被害を少なくすることにつながると思う」という項目にプラスの変容が見られなかった。これは地質の面から防災をとらえたプログラムが中心であったため、地域の人々が協力して防災に取り組んだり、被害にあった際に助け合いながら復興したりした活動にふれる機会が少なかったためだと考えられる。今後は、地域の防災組織や過去の復興を学ぶプログラムの開発が必要である。 ・南アルプスジオパークの中で、まだ教材として活用していないエリアを網羅したプログラム開発も必要である。				
16	担当者メモ	・南アルプスジオパークのエリアが広大なため、活動場所への移動時間が長く、参加者の車酔いや疲労に対する対応を十分行わなければいけない。また、山地なので、土砂災害に関する情報収集も常に行わなければならない。 ・今まで、各事業で宿泊を伴う場合、就寝前に、参加者が一人で考えをまとめたり、感想を記述したりしていた。今年度は、担当職員が参加者の意見を出させ、事業のねらいに迫るように共通理解を図った。今後も各事業で、共通理解を図る時間を設定すると、より一層、事業のねらいに迫ることができると考える。				

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考（講師等）
1日目		
13:00～14:00	開会式 オリエンテーション	
14:30～15:30	板山露頭見学	伊那市立東春近小学校教諭 北澤夏樹
16:00～16:45	ガイダンス「南アルプスジオパークの概略」	伊那市立東春近小学校教諭 北澤夏樹
19:00～20:00	ナイトハイキング	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
2日目		
10:00～16:00	南アルプス林道バスに乗車 ・幕岩、仏像構造線、鹿窓の地点で下車。説明と観察。 ・北沢峠から仙水峠まで登山。途中、風穴と岩塊を観察。 ・仙水峠で甲斐駒ヶ岳の説明と観察。	伊那市立東春近小学校教諭 北澤夏樹 (子どもへの説明の参考として、南アルプスジオパーク協議会の方々が帯同)
17:30～21:30	大池高原キャンプ場でテント泊 ・テント設営 ・野外炊飯（ジビエ料理：鹿肉の焼肉）	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
3日目		
6:00～9:30	大池高原キャンプ場 ・テント撤収 ・野外炊飯（鹿肉のレトルトカレー）	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
10:00～11:00	塩泉体験（温泉入浴）	
11:30～13:00	大西公園（大西山大崩落跡地の見学・周辺地形の観察）	伊那市立東春近小学校教諭 北澤夏樹 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
	（移動・休憩・自由時間）	
19:00～20:30	3日間のまとめ・疑問の洗い出し	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
4日目		
10:30～12:00	中央構造線博物館見学	中央構造線博物館 学芸員 河本和朗
13:00～14:00	山の災害メカニズムと防災の学習	山地環境防災研究所長 北澤秋司
14:00～15:00	大西山大崩落時の体験談および質問会	大鹿村在村者 今井 積
19:00～20:30	自然のすばらしさと恐ろしさについて考える	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
5日目		
9:00～12:00	キャンプのまとめ	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
13:00～14:00	まとめの発表会および講評	伊那市立東春近小学校教諭 北澤夏樹 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職 (伊那市役所の関係者が参観)
14:00～14:20	閉会式	

17



板山露頭の解説と見学



甲斐駒ヶ岳を登山し、



テント泊で食べた「鹿肉カレー」



大西公園の大崩落跡地を見学



意見を出し合い考え方を共有



山の災害の様子を
模型実験で学習